



発行責任者  
 (一社) 京都府保育協会  
 京都府保育士会  
 会長 笠置 英恵  
 (今里こども園)

すっかりコロナ前の生活が戻り、京都はたくさんの観光客で賑わっています。みなさまの園でも保護者を交えた行事が行われていることと思います。

今年は、「子ども家庭庁」が動き出し、来年は「こども大綱」の策定「児童福祉法改正」と保育市・保育教諭は専門職としてさらに質の高い保育を目指していきたいと思ひます。

京都府保育士会では、チームを組み、来年度の「保育の友「わたしたちの保育計画」4歳児に参加することになり、大谷大学西村美紀准教授をアドバイザーに、始動しています。

いろいろな園で参考にしていただけるような指導計画を作っていこうとしておりますので、ぜひ活用していただけたら嬉しいです。また保育士会主催のキャリアアップ研修、近畿ブロックリーダーセミナーも行いました。



「子どもの最善の利益の尊重・一人一人の子どもの発達保障」  
 ～みんなで考えたい保育事例・ハートファイルを活用して～

京都華頂大学 教授 山川 宏和先生

6月29日(木) キャリアアップ研修が集合研修で行われました。ワールドカフェ方式(少人数での話し合い)の後、ポスターセッションをして新しい事例を出し合いました。

全国保育士会「全国保育士会研究大会」静岡県浜松市で大会を行いました。4年ぶりの参集研究大会には1,000名を超える参加者が集い、8つの分科会で熱心に語り合う姿がありました。



来年は高知県で行われます。

今年参加できなかった方も来年はぜひ高知県での研究大会にご参加くださいね。



近畿ブロック保育士会リーダーセミナー  
 11月25日(土) 神戸市にて行われました。  
 「こどもをまるごと受け止めたい～0歳からの性教育～」  
 あいこ助産院の渡邊 安衣子氏から命をたいせつにする  
 就学前の性教育について熱い講演がありました。

| 7 日程                            |  |
|---------------------------------|--|
| 1/25 (木)                        | 12:00 13:00 13:15 13:45 14:45 15:00 17:30<br>受付 開会式 全体研修(講義と対談) 休  |
| 1/26 (金)                        | 9:00 15:30<br>コース別研修(4コース)   |
| 8 プログラム                         |  |
| ● 1日目 全体研修 1月25日(木) 13:00~17:30 |  |
| 12:00~13:00                     | 受付   |
| 13:00~13:15                     | 開会式  |
| 13:15~13:45 (30分)               | 総論報告 全国保育士会の令和6年度の取り組みについて<br>報告者:全国保育士会 会長 村松 幹子  |
| 13:45~14:45 (60分)               | 行政特別 保育をめぐる国の動向と課題 (仮題)<br>講 師:こども家庭庁 成育局 保育政策課  |
| 14:45~15:00                     | 休 憩  |
| 全体研修(講義と対談)                     |  |
| テーマ                             | 子どもの育ちを豊かにする「言葉」(仮題)   |
| 内容                              | 乳幼児期の子どもの育ちにおいて大切な言葉を通してコミュニケーションは、子どもたちが豊かな言葉や表現を身に付け、自分の言葉で伝えたり、相手の話を聞いたりする力につながります。<br>しかし、ゲームやスマホの普及、家庭形態の変化などにより、人と対話する機会が減少し、子どもの育ちを豊かにする言葉にする力やイメージする力の発達に影響を与えています。<br>本講演では、乳幼児期における言葉の発達に焦点を当て、保育者が日々のような指導をもち、どのように子どもたちとかわければよいのか、保育現場で実践できることを考えます。<br>また、保育現場で日々子どもたちとかわかっている保育者との対話により、保育現場の視点から講義内容を理解を深め、乳幼児期の育ちに必要「言葉」について参加者とともに考えます。 |
| 報告者                             | 石井 光太氏 (作家)<br>村松 幹子 (全国保育士会 会長)   |
| 石井光太氏プロフィール                     | 1977年、東京都生まれ。作家。国内外の書評や教育などをテーマに取り、執筆活動を行う。著書に「保育現場」「育ちの物語」「言葉はなぜ面白いのか」(中央公論新社)、「川河 謙が読者の心を揺るがす」(文藝春秋)などがある。   |
| 15:00~17:30                     | (休憩時間を含む)  |

  

| ● 2日目 コース別研修 1月26日(金) 9:00~15:30 |                  |  |                          |
|----------------------------------|------------------|--|--------------------------|
| コース                              | テーマ              | テーマ・内容   | 講 師                      |
| A                                | 働き続けられる職場づくり     | 働きやすい職場づくりのためには、新任保育者からベテラン保育者までの共通語や円滑なコミュニケーションなど、チームワークが重要な要素となります。<br>本コースでは、保育士・保育教諭等がやりがいや誇りをもって働き続けられる職場づくりのために、リーダー的役割に求められる役割や知識とともに、保育現場で実践できることなど、具体的な内容と方法を考えます。   | 矢藤 誠慈郎氏<br>(和洋女子大学 教授)   |
| B                                | 子どもの主体性を尊重した保育実践 | 保育者は子どもとかわかると、子どもの気づきや行動を尊重し、子どもの興味や意思を大切にしたい保育実践を求めています。<br>本コースでは、「子どもの主体性」について学び、日々の保育で実践できる『子どもの主体性』を大切にしたい保育、子どもの主体的な活動を促す方法などについて考えます。   | 久保 健太氏<br>(大妻女子大学 専任講師)  |
| C                                | 子ども一人ひとりを尊重する性教育 | 子どもは、保育所・認定こども園等で初めての多くの他者とかわります。自分や友だちの身体に興味心が出てくる乳幼児期に、保育者は、子どもたちが自身の身体を大切にしていけるように伝えていく必要があります。<br>本コースでは、乳幼児期の性教育に焦点を当て、保育者が押さえておくべき性教育の基本について学び、子ども一人ひとりを尊重するために保育者が日々の保育でどのような指導をもち、具体的にどのように子どもたちとかわければよいのかを考えます。 | 渡邊 安衣子氏<br>(京都あいこ助産院 院長) |
| D                                | 小学校との連携について      | 保育所・認定こども園等における子どもとのかわり方は、義務教育およびその後の教育の基礎を培うものであり、小学校においてはその基礎をさらに伸ばしていくことが求められます。<br>本コースでは、保育所等と小学校における連携の方法について学び、円滑な連携に向けてどのような取り組みができるのか、また、保育者一人ひとりが意識すべき点などについて考えます。   | 木下 光二氏<br>(鳴門教育大学 教授)    |

  

全国保育士会では、令和5年度より都道府県保育士会からの申請に基づき、都道府県庁に対し「施設改善等加算Ⅱ」にかかるキャリアアップ研修実施主体の申請を行っています。  
 令和5年度より実施主体は、都道府県庁(国庁)となります。  
 都道府県が「施設改善等加算Ⅱ」にかかるキャリアアップ研修実施主体として全国保育士会を認定した都道府県の「認定こども園」においては、全国保育士会が実施する研修を要請した機関をキャリアアップ研修の終了すべき研修時間のなかにも認めることができます。  
 都道府県の認定状況については、全国保育士会のホームページをご確認ください。  
 なお、上記の取り扱いは、認定こども園のみが対象となります。

## 全国保育士研修会のお知らせです

1月25(木)~26日(金) 場所:新横浜プリンスホテル

全体研修は作家の石井 光太氏「子どもの育ちを豊かにする言葉」をテーマに講演をいただいた後、全国保育士会村松幹子会長との対談があります。

分科会は

- ① 働き続けられる職場づくり
- ② 子どもの主体性を尊重した保育実践
- ③ 子ども一人ひとりを尊重する性教育
- ④ 小学校との連携について

- 和洋女子大学 矢藤 誠慈郎先生  
 大妻女子大学 久保 健太先生  
 京都あいこ助産院 渡邊 安衣子氏  
 鳴門教育大学 木下 光二先生